

図書館基本計画市民フォーラム報告書

市民文教委員会

日 程	令和4年8月20日（土）13:00～16:30
行き先 及び 派遣目的	舞鶴市政記念館（赤れんが2号棟） 図書館基本計画市民フォーラムに参加
参加委員	田村優樹委員長・伊田悦子副委員長・小谷繁雄委員 高橋秀策委員・谷川眞司委員・仲井玲子委員・眞下隆史委員
概 要	
<p><目的></p> <p>新中央館の新設を含んだ市の図書館システムの再編に係る舞鶴市図書館基本計画を策定されるに当たり、広く市民の意見を聞く機会として設けられる市民フォーラムに参加し、所管する委員会として、改めて計画の内容について理解を深め、今後の審査に生かす。</p> <p><対応いただいた方></p> <p>講師：舞鶴市図書館基本計画審議会副会長 常世田 良 氏</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師による講演「図書館が日本を救う—公共図書館の可能性—」 ・ 参加者との質疑応答 <p><委員の所感></p> <p>今回の講演内容は、議会研修会（令和4年4月）でお聞きした内容であり、その際、私たち議員の多くが公共図書館の役割・意義を確認する機会を得ていることから、図書館基本計画を初めて聞かれる市民のみなさんの反応を注目しながらの参加であった。</p> <p>感覚的には、新たな気づきを感じられている様子で、答申からの内容による図書館像、多目的に・多様な人々が・様々な利用形態でといった空間の利用価値を創造する計画であることを理解されたのではないかと考える。また、中央図書館と分館との連携、ネットワークの充実が大事であるといったご意見からも、市民の関心の高さがうかがえた。</p> <p>一方で、これまで図書館を訪れなかった働き盛りの年代層が活かせる情</p>	

報の蛇口としての機能を持つ図書館を目指されていることに対して、今のままの図書館の形態でもいいのではないかと、さらには、専門職としての図書館司書の配置や、職員の配置の問題、何よりも財政的な裏付けなど解決しなければならない課題が山積であり、これをどうするのか、行政の構えや方向性は今一つ見えてこない、検索の専門家として高度な情報収集ができる図書館員の人材育成が重要であるといった厳しい指摘もしておかなければならないと考える。

いずれにしても、今回の市民フォーラムにとどまらず、多くの場で市民理解が得られるよう意見交換の場を持つことが大事で、市民が図書館づくりに関与し、官民共同で図書館をつくっていくことが舞鶴市の新しい図書館の希望であること、新中央図書館については、図書館のもたらす経済効果の期待、子育てしやすいまちのアンケートの中にもあるように、「図書館でのサービスが充実していること」、そのような声が多数寄せられていることを鑑み、将来にわたる積極的な投資は必要であると考えます。